

クリスマスメッセージ2015

国際チーム - CLM

良い知らせ！

「(天使は言った)「恐れるな。わたしは、民全体に与えられる大きな喜びを告げる。」 (ルカ 2:10)

知らせ、このよき知らせは、しかし私たちのような文化の中では 一大変よく知られた— それ以上の何ものでもないかのようです (この福音書のよき知らせの箇所は、キリスト教文化圏においては、ありふれた箇所、人々はその大切な意味を見過ごしています。といった意味)。単なるひとつの知らせにしかすぎず、しばらくの間だけ流行るような話題でさえないので

おそらくこの幸せのメッセージは、数多くのメッセージのひとつにしかすぎないのかもしれませんが。ひとつの単なるあいさつ文、誕生日の手紙のようなものなのです。

私たちは、主のみ言葉にさえ、耳を閉ざしています。私たちは、み言葉が与えてくださる希望にも門を閉ざしてしまいます。これらすべてのメッセージはすぐに過ぎ去ってしまうからです。メッセージは知らされても、すぐに過ぎ去り、すべてのことはもとのまま残ります。なんの変化もなく、すべてがそのままあるかのようです。私たちは全く希望を見いだせない感情にとらわれ、希望を失い、希望がないことを悲しむことすらありません。

ですから、私たちに手紙を書くことを思い出させるために、

主はもう一度この地上に来なければなりません。

「初めからのことを思い出すな。昔のことを思いめぐらすな。見よ、新しいことをわたしは行う。今や、それは芽生えている。あなたたちはそれを悟らないのか。」 (イザヤ 43:18-19)

このことは今、起こっています。私はそれを今、行っています。主はまだやり終えていません。

よき知らせである福音は、過去に起こったことではないのです。むしろこれから起こることであり、主は行い、今、行っておられ、これから行われるのです。ですから、過去を振り返るのではなく未来を見るようにしましょう。



「恐れるな…………… それは喜びの理由になることでしょう。」

恐れは信仰の不足すなわち成就されないだろうという感情からやってきます。福音は、私たちの心に自分自身を向けることによって始まります：恐れ

てはいけません。主が私たちを今、救っておられるのです。

私はあなたたちの心を満たす喜びを与える。

この喜びと命であなたの心を満たす。

あなたたちの中にはどこにも闇はない。

「すべてのひとのために」

大きく考え、だれをも排除しないことです。たった数名の当選者を喜ばせる宝くじではありません。主は例外なくすべての人に寛大に施して下さいます。これは福音です。－主は私たち皆を救われ、私を救ってくださるのです。私の全存在を救ってくださるのです。主はどんな人をも除外されません。主は私と私たち皆を命と喜びで完全に満たしてくださるのです。



主は私たちに本当に「よき知らせ」をもたらして下さいます！

クリスマスおめでとう！